

のいっちゃん便り

野入 仁は、友人から“のいっちゃん”と呼ばれております



こんにちは！6月になりました。6月といえば1年で最も日が長くなる季節です。冬は7時過ぎないと夜が明けられないのに今は4時半頃から明るくなり始めます。寝るのが遅いとすぐ朝になるという感じです。せつかくですので、この日の長さを有効活用したいですね。



近づいてよく見ると、かわいいピンク色の小花が沢山集まって咲いています。アプリで調べると「ヒメツルソバ」という花でした。原産地はヒマラヤで日本でも半野生化するほどよく増えて、花壇に植えると広がりすぎて他の植物に影響を及ぼすこともあるそうです。でも雑草が生えるよりはいいので庭に植えてみようかなと思いました。

次は、家を解体したあとの空き地に咲いていた花です。朝のウォーキングの帰りで見つけました。



左側はケシですが、右側の小さな花が気になりました。近くで見ると、これもまたかわいらしい小さな花の集まりです。切れ込みのある5枚の花びらがサクラソウに似ていますが葉っぱの形が少し違うような気がします。サクラソウを調べてみると、種類が色々あって花の色も白や紫などがあるようです。現在は自生のサクラソウは激減して

◆道端に咲いている花

今月は、我が家の近所の道路や空き地に咲いていた花をいくつか紹介します。花を見つけてキレイだなと思うと、とりあえずスマホで写真を撮るのですが、ほとんど名前が分かりません。分からないのですが花の名前を判定するスマホのアプリがあるのでそれを利用して調べています。でも結局よく分からないものが多いです。下の写真は近所の小川です。小川といっても土手は間知ブロックで護岸されていて何の風情もありません。川底もコンクリートで真っ平らです。ですから小川といっても側溝が大きくなったような感じです。でもよく見ると間知ブロックのすき間に草がところどころ生えています。それもかなりの長さですーっと続いているのです。



土手？のブロックのすき間には色々生えています。



環境省レッドリストの準絶滅危惧種に指定されているそうです。もしこれがサクラソウだとすると貴重なものですね。まだまだご紹介したい道端の花は沢山あるのですが紙面の関係でこのくらいにしておきます。このように、ちょっと足元を見れば新たな発見があるものですね。

意したいのですが、大きな刃こぼれがなく切れ味もそこそこでよければ中砥だけでも大丈夫です。中砥と言われる砥石の番手は1000番位です。



左から、荒砥400番・中砥1,000番・仕上げ砥5,000番

◆包丁砥ぎについて



正本の出刃包丁

皆様は、お使いの包丁を時々砥いでいますか？包丁砥ぎは楽しいですよ。なぜなら切れ味が悪かった包丁が別物みたいにスパスパ切れるようになるからです。どうやって切れ味をチェックするかというと紙を切ってみるのです。広告紙や新聞紙などですが、薄い紙が引っ掛かりなくスーッと切れれば合格です。少しでも刃こぼれがあれば薄い紙はキレイに切れません。切り進んでいくと途中でそこが引っ掛かってビリッと破れます。そこで切れ味を復活させるために包丁を砥ぐのです。砥石はできれば、荒砥・中砥・仕上げ砥の3種類を用



トマトがこれ位薄く切れれば合格

私は週に1回は砥いでいますが、普段包丁を砥がない人は切れ味の悪さに慣れてしまっていて切れが悪いとも思わないようです。そういう人の包丁を砥いであげると切れ味の違いにビックリされます。日本の包丁は切れ味の良さと造りの良さと世界的に評価が高く、海外でも多くのプロの料理人が愛用しています。中にはわざわざ日本まで買いに来る人もいますほどです。包丁が切れると料理も楽しくなります。もし、まだ砥いだことが無い方は挑戦してはいかがでしょうか？

◆終わりに・・・

気が付いたらもう6月も下旬です。どうにか6月中旬にこのお便りを作ることができました。それにしても今年は雨が降りませんねえ。水不足にならないといいのですが・・・

